令和7年度埼玉県自立支援協議会精神障害者地域支援体制整備部会及び同部会ワーキンググループで協議した取組についての進捗報告

資料5-1

令和7年度議題

・心のサポーター養成事業について
・入院者訪問支援検証事業について
・国の動向「精神保健医療福祉の今後の施策推進に関する検討会」「地域医療構想」
・「にも包括」における保健所の取組

進捗状況

心のサポーター養成事業について

・令和８年９月25日(金)に北埼玉地域障がい者支援協議会精神障がい者部会主催の心のサポーター養成研修を加須保健所及び障害者福祉推進課が共催として実施し、支援者38名が参加した。
・令和８年11月28日（土）に坂戸保健所主催、管内市町村及び障害者福祉推進課の共催で同研修を管内在住・在勤・在学の方向けに実施予定。
・令和８年10月８日(木)精神障害にも対応した地域包括ケアシステム研修をオンラインで開催し、本事業をテーマとして市町村、各保健所向けに研修実施自治体からの報告等を行って実施事例を共有し、計198名に周知及び実施に向けたアナウンスを行った。

進捗状況

入院者訪問支援検証事業について

・令和７年度までの検証事業を経て令和８年度から「入院者訪問支援事業」として本格始動した。また、さいたま市も同事業を開始した。
・令和８年７月２７日（月）及び７月２８日（火）の２日間で入院者訪問支援員養成研修を実施し、専門職及びピアサポーター計１９名が参加した。
・令和８年度下半期には、各市町村に対して本事業のリーフレット等を送付し、本人面会時に御案内をいただくなど活用について周知を行う予定である。

国の動向「精神保健医療福祉の今後の施策推進に関する検討会」「地域医療構想」について

・地域医療構想は、地元で適切に医療を受けられるという点でも、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築（以下「にも包括」）の推進が必要であると考え、各保健所に対して、協議の場等において関係機関の意見交換及び地域課題への対応について検討する重要性について周知している。
・保健・医療・福祉の連携が不可欠であることから、疾病対策課等関係各課との情報共有を行っている。

「にも包括」における保健所の取組

・南部保健所主催の「にも包括構築」に関する会議では毎年度テーマを決め、保健、医療、福祉の担当者と意見交換を年２回行っている。また年１回保健、医療、福祉担当者等を含め、連携に関する研修会を実施。その他それぞれの分野の代表者との意見交換を行っている。
・狭山保健所では、「にも包括」に関する会議や事業を実施するにあたり、保健所管内の精神科医療機関等へヒアリングを行い、効果的な展開について検討を行っている。